

全体発表会用パワーポイント

分科会NO.7

障がい者の地域生活 ～余暇支援を通して～

2011年2月10日
総合演習

障がい者の地域生活 ～余暇支援を通して～

葛西一馬 藤田夏喜 高橋里奈 富永舞 吉原綾乃 石井理奈
福田孝太郎 藤谷和紀 百崎千 児玉佳一 池端環奈
加賀谷葵 大川真美 星祥子 上石茜音

1. はじめに

～余暇支援とは～

- QOL(生活の質)を向上させるために、人々の生活を快適にしたり、活力を与えたりする余暇活動を支援するものである。
(例:スポーツ、遊び、学習など)
- 障害をもつ方が余暇活動をするにあたって時間や場所、移動手段、支援者などの問題があり、なかなか参加できないというのが現状である。

⇒私たちの身近にも充実した余暇を過ごせるように支援しているボランティアがある。このボランティアの活動から、障害をもつ方の余暇活動について考える。

2. 対象のボランティア団体


- ①生涯にわたる余暇支援「秋田すずめの会」
歌やダンスを通して、地域の人との交流を図る余暇活動
- ②子どもの放課後支援「V-net」
学習や遊びを通して、子どもたちの放課後の時間を充実させることを図る余暇活動
- ③スポーツ「虹の輪」
運動を通して、体力向上や運動不足の解消を図る余暇活動

①秋田すずめの会について



活動内容

- 遊ぼう会
- ミュージッククラブ & たまり場
- さをり織り
- 宿泊交流会
- 成人を祝う会
- クリスマス会
- 地域の音楽イベントへの出演(とっておきの音楽祭in仙台、とっておきの音楽祭in秋田)



クリスマス会

- 日時 12月4日(土) 13:00～15:00
- 場所 一般教育棟1号館
- 内容
出し物(劇、ピアノ、リコーダー、スコップ三味線、ギター など)・プレゼント交換・交流



全体発表会用パワーポイント

分科会NO.7

障がい者の地域生活 ～余暇支援を通して～



知ったこと・考えたこと

- すずめの会の人は現状に満足している
- みんな障がいも年齢もバラバラだから、お互い認め合いながら成長できる場所である
→生涯学習
- 楽しみながら学んでいる
- 思い込みが払拭できると良い

②子どもの余暇活動

学習ボランティア

秋田県立医療療育センターで、小学生～高校生までの子どもたちの学習をサポートする。

～担当学生より～
子どもたちが次の週の活動を楽しみにしてくれるような時間にしたい。



遊びボランティア

秋田県立医療療育センターで、小学生～高校生までの子どもたちと運動したりゲームをしたりして遊ぶ。

～担当学生より～

医療療育センターの子どもたちは外部の人となかなか接する機会がないので、たくさんコミュニケーションをとってほしい。



かりんとう教室

秋田県LD・ADHD児の親の会「アインシュタイン」という団体の定例会の間、子どもたちとゲームなどをして遊ぶ。

～担当学生より～
かりんとう教室は学校ではないので、子どもたちが気軽に関わることのできる存在でありたい。



親の会のコメント

- いろいろな年齢やタイプの人たちと接することで、コミュニケーション能力を学べるよい機会になっている。
- 学校やスポ少で、人との関わりや自分をセーブすることができるようになってきた。
- 自分を認めてもらえる場が増えて、自信をもって活動することができるようになってきている。
- いつもこの会に参加することを楽しみにしている。

全体発表会用パワーポイント 分科会NO.7

障がい者の地域生活 ～余暇支援を通して～

感想

子どもたちによりよい時間を
過ごしてもらおうとする様々
な工夫や子どもたちとよい関
係性を築いていこうとする姿
勢がみられ関心した。

また、子どもたちも学生もとて
もよい笑顔で楽しそうに活動
に参加していて、活動は両
者の生活や成長により影響
を与えていると感じた。



③虹の輪～活動内容～

《1》どのような活動を行っているか

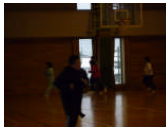
○普段の虹の輪の活動では、スポーツを中心に活動を行っ
ています。バスケやドッジボール、ヤートセやダンスなど球技
からダンスなど様々な運動を行っています。

○その他、今年の活動では、料理教室で一緒に料理を作っ
たり、お楽しみ会を開催したりしました。

《2》参加されている方の年齢層

虹の輪に参加しているユーザーさんは学校に通っている子
どもから仕事をしている方まで、幅広い年齢層の方々が参
加しています。この活動は普段運動する機会のない方々に
その機会を作るための余暇活動となっています。

活動の様子を写真で紹介します。



まずはみんなでランニ
ングからスタートです。



次に、しっかりと補強
をします。



この日は、最後にバ
スケットボールの試合
をして終了です。

普段の活動では障害児教育選修の学生がボランティアとして一緒に参
加させていただきます。

参加した学生の感想

ユーザーさんと関わることで、
活動にどのようなことが求めら
れているか感じることが出来る。
また虹の輪ではスポーツを中心
に行っているため、ふれあう
機会が増えて自分も心から楽
しむことが出来た。

ボランティアに参加して感じた
ことは継続が大事ということ
である。一回参加しただけで
は接し方などがよく分からず、
上手く支援が出来なかった。
長くつき合ひ、性格などを把握
していくことが支援には大切
だと思った。

ボランティアを通して障がいを持つ
人々とふれあうことはとても有意義
なものであると考える。そこには
我々が普段見ることのない障がいの
実態があり、そしてそれはイメ
ージと異なる部分を多く持つことに
気付くことが出来る。今一度、自分の
障がいというものに対しての向き合
い方を考える機会となった。

このボランティアの素晴らしいところはコ
ミュニケーション手段が豊富だとい
うところである。スポーツが主となる活動
をしているので、例えば、バスケなど
シュートを決めたチームメイトに向かっ
てハイタッチを求めたり、声を掛けあ
たりすることが出来る。このように人と
ふれあうことは社会性を形作り、上
で非常に大切なことである。「虹の輪」は
楽しみながら、社会性を学んでいくこ
とが出来ると感じました。

3. おわりに

～余暇支援の現状と課題～

- 余暇支援団体が増えてきている
- 新しい出会いやコミュニケーションの場
- 移動の困難さ
- 活動内容が難しい
- 時間、活動内容、参加できる人の制限がある

⇒ **地域ぐるみの支援**が必要

多くの人に活動を知ってもらう工夫、
参加しやすい環境づくりが課題である。